

謹賀新年



毛呂山町長 井上 健次

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災発生とそれに伴う大津波により1万5千人を超える方がたが尊い命を落され、その後の東京電力福島第一原子力発電所の事故と飛散した放射性物質によって我が国は未曾有の国難の事態となり、今なお全国でおよそ33万人の方がたが避難されています。お亡くなりになった方がたに心より哀悼の意を表すとともに避難生活を余儀なくされている方がたに衷心からのお見舞いを申し上げます。

さて、昨年は統一地方選挙の年でもあり、毛呂山町においても4つの選挙が実施され、それぞれに新しい体制となった年でもあります。私も、4月24日投票で実施された毛呂山町長選挙において、大変多くの皆さまからのご支持をいただき当選の栄を受け、5月15日より歴代町長としては一番若い第8代毛呂山町長として就任いたしました。

現在まで8か月を経過し、町長選挙で訴えてまいりました政策公約につきましては、8月の毛呂山町議会議員一般選挙によって新たに毛呂山町議会議員になられた14人の議員の

ご理解のもと、順次進めさせていただいているところです。

長引く不況に東日本大震災による復興支援施策も加わり、国の財政も深刻となって参りましたが、このような時こそ閉塞感という言葉を用いるより知恵を使いピンチをチャンスに変える強い自治体運営が必要で、政策公約で訴えてきた「自助、共助、公助」により、「毛呂山町は、いい町になったなあ」と感じる。そんな町づくりにより、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

毛呂山町の7か月を振り返って

さて、町長に就任してからの毛呂山町の町政を月別に紹介しますと、5月、役場職員による「行財政戦略会議」を組織し、機構改革を進めました。また、役場職員6人による東日本大震災被災地支援のための先遣隊を組織し、岩手県、宮城県、福島県、茨城県の被害状況の把握と支援隊の受け入れ状況を調査させました。そして、東日本大震災復興支援プロジェクト委員会を設立し、復興支援計画を進めました。

6月、定例議会において私の公約でありました「町長報酬の減額」について上程し、議員全員の賛成をもって可決決定をいただき、4年間で約1千万円の財政効果が実現する

ことになりました。

7月、1日から2日にかけて社会福祉協議会主催による総勢29人の被災地復興支援ボランティア隊の第1団が福島県いわき市で支援活動を行い、22日から23日にかけて第2団の町職員で構成された東日本大震災ボランティア隊26人が岩手県陸前高田市で支援活動を行いました。また、埼玉県より「被災地自治体と県内自治体同士の助け合い事業」の提唱があり、毛呂山町は、福島県浪江町を支援する旨の要請がありました。そこで町として、もろ丸くんオリジナルポロシャツなどの販売益から浪江町支援をスタートさせました。

8月、災害時における緊急放送に関する協定をゆずの里ケーブルテレビ株式会社と締結しました。17日には、福島県浪江町の馬場町長に義援金50万円と教室用掛け時計24個、ボランティア団体による腕貫とボトルキーパーなどを届けました。また、毛呂山町議会議員一般選挙が行われ、14人の議員が選出されました。観光施策として、桂木観音下付近の立ち木を伐採し、見晴らし場所を整備しました。

9月、災害時における燃料等の優先供給に関する協定を町内6社のガソリンスタンド経営者と締結しました。また、定例議会に小山格副町長と栗田博教育長の人事案件を上程

し、議員全員の同意をいただきました。

10月、埼玉県に都市計画道路「川越坂戸毛呂山線」の建設促進に向けて、毛呂山町の主導により近隣の坂戸市・鶴ヶ島市・越生町・鳩山町の首長連名による要望書を提出しました。また、災害時における生活物資供給等の協力に関する協定を生活協同組合さいたまコープと締結しました。

11月、友情都市盟約を交わす宮崎県木城町と災害時相互応援に関する協定を締結しました。そして、災害時における緊急輸送物資等の運搬協力に関する協定を西武通運株式会社と締結しました。

12月、定例議会で「子ども医療費窓口払い廃止」に向けた条例改正案が議員全員の賛成によって可決されました。また、福島県浪江町の馬場町長に義援金100万円と毛呂山特産の「ゆず」、ボランティア団体が作ったポトルキーパーなどを届けるため、2回目の訪問を行いました。

今年の主な事業について

次に今年1年の施策についていくつかご紹介いたします。

1 県道整備事業

長い期間にわたって進められてきた県道飯能寄居線バイパスについて

は、毛呂山分の長瀬・葛貫地区の工事が終了し、いよいよ2月18日に長瀬地区（防犯活動センター南側）において開通式を挙行する運びとなりました。当日は、式典が計画されておりますので、ぜひ、お越しく下さい。

また、昨年10月に県に要望しました都市計画道路「川越坂戸毛呂山線」ですが、今年も関係機関と緊密な連絡をとるとともに、さらに要望活動を続けて参ります。

2 子育て環境整備事業

平成24年度から平山地区に新たな保育園の建設を進めることになり、現在設計段階であります。

3 道路整備事業

生活道路の整備は最優先の課題であり、第一団地・第二団地・第三団地・毛呂山台団地・学園台団地など各団地内の道路整備について優先順位などを考慮したうえで順次工事を進めていく予定です。

また、川角小学校から川角中学校の脇を通る町道7号路線は、企業誘致のためにも大事な路線であります。平成23年度・24年度の2か年で拡幅改良工事を進めていく予定です。

日化団地北側の自動車がすれ違い出来ない踏切は、平成24年度予算に改良のための設計予算を計上する予定です。

4 川角駅周辺整備

川角駅周辺地域の整備については、昨年近隣の大学および高校に協力を呼びかけており、整備構想をまとめ、駅利用者などの安全対策を図って参ります。

5 高齢者支援事業

高齢者支援については、私の政策に掲げた「地域みまもり隊」の充実のため、各地域の組織化を進めるとともに、安心して生活できる「健康長寿の町もろやま」を築いて参ります。

6 産業振興事業

活力を見出す施策では、中山間地域特有の地の利を活かした産業や観光を結びつけた事業展開を地域の方がたの協力のもとに進めていきたいと考えています。

以上、抜粋して今年の予定を述べさせていただきましたが、財政状況も厳しい折から、しっかりと町民ニーズを把握し、議会のご理解を得ながら、より安全でより安心できる町づくりができるよう職員と一致団結し、努力してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、町民皆さまが健康で幸せな1年でありますようお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。